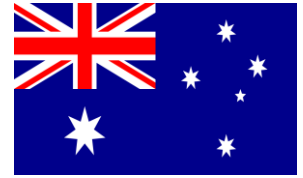


Southern Cross



The Japanese School in Perth
パース日本人学校



2022 No. 12

3月1日発行

Web-site www.japaneseschool.wa.edu.au

e-mail: toiawase@jsp.wa.edu.au

「一期一会（いちごいちえ）」

校長 中丸 俊 晴

最初に、昨日以来の covid-19 に対するご対応有難うございます。今日から、3年生以上は学校再開となり、1, 2年生とその兄弟は引き続き自宅隔離になりました。保護者の皆様もこのような状況の中で不安を感じられていると思いますが、再び学校に子供たちの笑顔が戻ってくるよう、また、今の時点で、子供たちのために何ができるかを考え、教育活動を進めて参ります。この先も、急な対応をさせていただくことが出て参りますが、どうぞよろしくお願い致します。

さて、タイトルの四字熟語「一期一会」の意味は、”人との出会いを大切にする”という意味です。「一生に一度の出会い」を人との出会いにあてて「相手がどんな人であっても、出会えたこと自体に感謝する、喜びを感じる」という意味に取ることができます。

先月の全校集会で、昨年から3年生以上が行っている連句の話をしました。連句とは、つながる句で、人と人が言葉を交わすのと同じです。今回は、他の学校の児童生徒が作った上の句（5・7・5）に、パース日本人学校の3年生以上が、下の句（7・7）を付けました。一部を紹介します。

曇り空 ふと見た先に 希望の光

光はあなたを 見守る証拠

上の句の言葉のひとつひとつが心に残りました。いっしょにがんばって希望の光を追いかけましょう。

友達の 輝く笑顔 笑う声

いつでもみよう みんないっしょに

いつでもえがおでいられるということは、みんなが元気になるのでいいと思いました。

だれでもね 輝く希望の 夢がある

かがやく希望は となりにある

こんにちは。わたしは西のオーストラリアのパースにすんでいます。「かがやく希望」がいいと思いました。コロナに負けないように、あと少しだからがんばりましょう。

この連句でのつながりは、一瞬かもしれません。また、この連句の取り組みでは、前述のようにメッセージも送りました。実は、この連句集は、星友と命名され、先月、星友の星（国際宇宙ステーション）に打ち上げられ無事に到着しています。星友でつながった友達が、夜空に輝いています。

最後に、今年度の学校も数日となりました。辛い時は空を見上げ、決して一人ではない、みんなつながっているそんな思いを抱きながら、残りの学校生活に取り組んでいきたいと思っています。

お世話になりました 離任のご挨拶

中丸 俊晴

保護者の皆様には、短い期間でしたが、赴任中、大変お世話になりました。また、純粋なJSPの子供たちとの出会い、巻頭言に書いた、一期一会、いつまでも大切にしていきたいと思えます。

思い出に残っていること

ベスト1 朝の挨拶の時間

いつも、2年生何名かが、昨日の出来事や、今取り組んでいること、今日の楽しみなどを楽しそうに話してくれます。何より、その元気な話し方、時には、飛び跳ねながら話をしてくれます。朝から元気をもらいました。

ベスト2 全校集会や式での話の聞き方

全員の目がきちんと話をする人に向かっていきます。時折、児童生徒の個人名を挙げながら話をしましたが、僕のこと、私のことも話してください。と、目で訴える様子をひしひしと感じました。こんなに、話をされていて幸せなことはありません。ついつい話が長くなってしまいました。

ベスト3 オープンナイトでの様子

オープンナイトで、夕方、遅くなった時間での出来事です。校庭から、とても楽しそうな声が響き渡っていました。何と、JSPの児童生徒が皆一緒になって、鬼ごっこをしています。小さい子から中学生まで一緒になって。こんな光景は、日本の学校ではありえません。

さて、保護者の皆様には、いつも、様々なご支援をいただき、感謝しております。この、皆様との出会いを生涯大切にしていきます。いつでも、どこでも、何かありましたら、お声けいただけると幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

佐々木弘恵

あっという間の3年間でしたが、JSPの子どもたちに出会い、保護者の皆様にお世話になり同僚にも恵まれて、人生で忘れられない貴重な3年間を過ごすことができました。人との出会いに恵まれたことが、パスで得られた何よりの宝となりました。

JSPでは、どの子もきらきらとした純粋な目で日々を一生懸命生き、愉しそうに学び、まっすぐに成長していました。子どもたちが、お互いの自分らしさを丸ごと受け入れ、温かい笑いや助け合いの中で、のびのびと生活している姿は、そばにいる誰をも幸せにしてくれました。本当に素敵な子どもたちです。こんな子どもたちを、学校に毎日元気に送り出していただき、保護者の皆様、本当にありがとうございました。

オーストラリアに来たことで、教員として新しい経験や学びをさせていただいたことはもちろんですが、自分がどのように生きていきたいかということ、日々考えさせられました。保護者の皆様からも、たくさんの影響を受けました。日本を離れ、お子様を育てる、人を育てるということは、尊敬の一言に尽きます。さらに社会やコミュニティ、家庭できびきびと役割や責任を果たされながら、明るく気さくに接してくださる人としての大きさに、日々勇気をもらいました。皆様、どうぞお体に気を付けて、お元気でお過ごしください。子どもたちの成長と活躍、そしてすばらしい未来を、心から願っております。本当にありがとうございました。